

小都市における1歳6ヶ月児健康診査

出口 雅経, 田川 恒之(大村市医師会)
俣野 正道他 (大村市歯科医師会)
田中久美子, 大石真知子(大村市役所生活環境課)
長崎県大村保健所保健婦一同

I はじめに

長崎県のほぼ中央に位置し、人口63,000の小都市である大村市では、昭和52年10月以来1歳6ヶ月児健康診査を実施して来たが一部成績は昨年の本研究会で報告した。昭和53年度は健診内容の向上、特に集団指導における母親の保育知識の向上、育児態度の改善、幼児食への理解の向上に重点を置いて努力してきたので過去1年間の成績について報告する。

II 健診の実施状況と受診率

毎月2回実施し、1回40名前後を対象として行っている。昨年度と同様に表1に示す問診票を郵送して母親に記入してもらい、当日持参させると共に、郵送時に同封した採尿パックに尿を持参させ検尿は円滑に行われている。

a) 一会場での健診従事者

小児科医1名、歯科医1名、看護婦3名、保健婦6名、栄養士1名、検査士1名、受付事務1名の計14名でチームを編成している。

b) 会場及び人員配置

図1に示す様に大村市役所2階大会議室を会場として中央に黒板を置き健診の順序を明示して母親の困惑を避ける様に努めている。

健診の順序は図に示す様に

受付 → 検尿 → 問診 → 身体測定 →
集団指導 → 歯科検診 → 小児内科健診 →
→ 個人指導

の順に行なっている。

会場の壁には種々のパネルを展示して子供に接する母親の態度を中心に育児の問題点を理解し易い様になっている。又我々は集団指導に映画を利用している。この映画は厚生省指導により作製された1歳6ヶ月児検診のものを大村市で適当に改編し20分前後に短縮して映写しており

母親の育児に対する充実した視聴覚教育として好評である。

虫歯予防については歯の模型を使用して歯のみがき方を指導している。

c) 受診率

昭和53年3月より54年2月迄の1年間の対象児は984名で、実際に会場で受診した者は877名、受診率89.1%であった。

問診票のみ返送して健診会場に来ていない者14名、民生委員により受診勧奨を受けて健康相談に訪れた者4名で、両者を加えての受診率は91.0%であった。

民生委員により未受診者の実態が把握出来た例76名であった。

未受診者の内容は当日対象児が病気であった者22名、母親の仕事の都合で来られなかった者16名、家族の病気の為4名、受診日を忘れていた5名、病院で健診を受けたので必要ないと考えていた3名、保育所に行っていた1名、知らなかった2名、どうでもいい1名、母親が里帰り中であった3名、不在4名、離婚1名、会わせてもらえない1名、市外転出4名、不明8名となっている。その他に現在調査追跡中の者6例、不明例11名がある。

III 健康診査成績

昭和53年3月より54年2月迄の受診者877名中記録が完備している876名について報告する。

a) 出生順位及び主な保育者

受診者の性別、男子442名(50.5%)
女子434名(49.5%)である。受診者の出生順位は第1子370名(43.1%)、第2子332名(38.6%)、第3子125名(14.5%)、第4子22名(2.6%)、第5子7名

(0.8%), 第6子2名(0.2%)であった。同胞がいない者323名(37.6%), 1人いる者368名(42.9%), 他に2人いる者135名(15.7%), 3人いる者21名(2.4%), 4人いる者8名(0.9%), 5人いる者2名(0.2%)であった。

母親の年齢20~24才94名(11.0%), 25~29才483名(56.5%), 30~34才215名(25.1%), 35~39才53名(6.2%), 40才以上10名(1.2%)等である。

地方の田園都市での父親の職業はサラリーマン68.6%, 商工業14.0%, 農業5.5%, 漁業関係1.3%, その他8.6%等であった。母親の最終学歴は中学卒24.8%, 高校卒63.2%, 短大卒6.7%, 大学卒2.8%等である。

保育担当者は昼間は母親65.8%, 祖母15.4%, 保育所15.3%, 施設内保母2.1%, 祖父0.6%, 知人0.2%等となっているが、夜間になると母親95.4%, 祖母2.2%, 施設内保母1.6%, 父0.3%, 知人0.2%, 祖父0.1%の順である。

b) 出生歴

妊娠中に母親が健康であった者78.9%, 何等かの異常を訴えた者177名(20.0%)であった。

その内容は妊娠中毒症76名, 貧血69名, 切迫流産14名, 悪阻4名, 境界糖尿病5名, その他卵巣腫瘍, 頸管無力症, 風疹等の種々の疾患が10名であった。

分娩異常は201名(23.1%)で, その内容は吸引分娩60名, 帝王切開57名, 早期破水22名, 臍帯巻絡14名, 胎盤用手剥離9名, 骨盤位8名, 廻旋異常5名等である。

出生時体重2,000g未満1.5%, 2,000~2,500g未満5.3%, 2,500~3,000g未満23.6%, 3,000~3,500g未満47.2%, 3,500~4,000g未満19.2%, 4,000g以上2.5%となっている。

c) 健診迄に経過した主要疾患

麻疹100名, 水痘86名, 百日咳48名, 流行性耳下腺炎8名, 肺炎及び気管支炎54名

重症下痢症23名等である。

d) 予防接種歴

麻疹ワクチン接種者95名(10.8%), ポリオ生ワクチン服用者309名(35.3%), ツベルクリン反応を受けた者は273名(31.1%)に過ぎず, BCG接種者250名(28.5%)であった。

e) 生活習慣

我が国では殆んどどの家庭にテレビを備えている。幼児がどの位の距離でテレビを見ているのか? 一日にどれ位の時間見ているのか?, 幼児とテレビの問題は極めて重要な事であり, 我々は必ず調査を問診の際に行っている。

テレビとの距離は50cm未満が3.9%, 1m未満が18.3%, 1~1.5m未満が42.9%, 1.5m以上が34.0%であり, 見る距離と将来の近視の問題との関係はないのか, 適切な判断が望まれる。

テレビを見る時間は1時間未満20.4%, 1~2時間未満37.1%, 2~3時間未満22.5%, 3時間以上15.5%で, 幼児に必要な運動量と将来の肥満との関係はないのか, テレビを見る時間と知能向上, 或は将来の学業との関係等について適切な指導が望まれる。

排泄のしつけを始めている者88.4%, 食前食後に手を拭いてやっている者79.9%である。事故については116名(13.2%)が何等かの経験を受けている。主なる内容は火傷62名, 外傷24名でその外に転落3名, 誤飲3名, 骨折2名, 捻挫2名, 脱臼1名, 未記入18名となっており, 特に火傷を受けない様に保護者の周到な配慮が必要である。

f) 食事及びおやつについて

食事で大人と同じものである91.4%, 大人と同じものではない8.3%, 保護者が栄養のバランスを考えて与えているとする者67.9%, 特に考えずに与えている31.6%であった。

子供のために時々調理の工夫をしている61.8%, していない37.9%である。

食事の好き嫌いがあるとする者41.0%, 特にないとする者58.8%であった。与えられた食事を良く食べる82.0%で食べないのは17.8%

である。

おやつに対しては食事の一部と考えている者 54.4%で、時間を決めて与えている者は43.4%に過ぎず、適当に慾しがるときに与えている者が多い。おやつは主に何を与えているかを調べてみると菓子、アメ類27.5%、牛乳・乳製品類31.8%、果物24.8%、ヤクルト・ジュース類12.7%等である。

g) むし歯に対する保護者の考え方

むし歯にならない様に気をつけている83.4%で、特に考えていない16.6%であり、具体的には甘いものをひかえている31.8%、食後にお茶や水を与えている41.2%、食後口の中を拭いてやっている2.9%、食後歯みがきをさせた後仕上げをしている33.4%となり、むし歯防止を積極的に行なっている者が予想以上に多い。

育児態度として子供に対しまいすぎている12.7% 余りかまわない10.5%、普通と考えている76.6%であった。

h) 運動発達の状況

歩行開始の時期は9ヶ月未満1.3%、9~10ヶ月16.7%、11~12ヶ月43%、13~14ヶ月24.2%、15~16ヶ月12.8%、17~18ヶ月1.6%で、歩行不能2名0.2%であった。健診時によく歩くと言った者98.6%手を引いて階段を上ると言った者97.3%であった。鉛筆を持ってなぐり書きをする者98.9%水をコップで飲む者99.5%、スプーンを持って自分で食べようとする者98.4%であった。

i) 精神発達、言語発達、社会性の発達

おもちゃで良く遊ぶ者99.0%、人のまねをする97.2%、絵本に興味を示す97.6%、絵本を見て知っているものを指さす92.9%で、意味のある片言が言える者97.0%、相手になると喜ぶ者99.8%、他の子供に対して関心を示す者98.5%であった。

j) 発育

身長97P<A0.7%、90P≤A≤97P4.0%、中79.4%、3P≤A<10P10.7%、A<3P5.1%で、体重は97P<A2.7%、90P≤A≤97P8.4%、中81.9%、

3P≤A≤10P5.6%、A<3P1.4%であった。Kaup指数は97P<A3.9%、90P≤A≤97P12.7%、中80.8%、3P≤A<10P2.1%で、A<3P0.3%である。

IV 内科診察

受診態度は協力的であった者71.6%で、非協力的な者は28.4%で、非協力者は泣く者が特に多く、次であられる、こわがるの順であった。体格は大がら6.7%、小がら9.7%、普通83.6% 栄養状態肥えている7.1%、やせている7.1%、普通85.8%、筋肉強壯4.7%、薄弱3.4%で、形態異常は16名1.6%にみられ、後頭部扁平、漏斗胸、O脚、鳩胸、淋巴管腫があげられる。皮膚所見としては異常ありが96名(11.0%)でその主なものは湿疹51名(5.82%)、青白い7名(0.8%)、血管腫2名(0.2%)等であった。

胸部聴診所見は異常ありが9名(1.0%)でその主なるものはラ音聴取である。

心音では、心雑音を聴取した者2名(0.2%)であった。

腹部所見は2名(0.2%)に異常が認められ1名は水腎症でカテーテルを挿入しており、他の1名は肝2横指を触知している。

神経学的所見及び運動機能では、境界領域にあるもの3名(0.3%)が認められている。

視力障害の疑いがあるもの4名(0.5%)であった。斜視は5名(0.6%)にみられ、他に斜視の疑い1名(0.1%)がみられた。

聴覚は全例正常であった。

尿蛋白は陽性2名(0.3%)で、その後の精検では異常がみられていない。

尿糖は全例異常を認めていない。

血色素は未熟児で出産した者及び外見より貧血が推測された35名について調べた結果、Hb10~11.5g/aℓの範囲の者が5名(0.57%)に認められている。

V 歯科検診

生歯が1~4本の者11名(1.3%)、5~9本の者44名(5.0%)、10~14本の者

265名(30.1%)、15~20本の者が556名(63.6%)であった。

歯の汚れをみるときれい297名(34.0%)普通486名(55.5%)、きたない93名(10.5%)で、う歯を有する者84名(9.6%)であり、その内訳は1本21名、2本30名、3本11名、4本16名で、6本3名、8本もう歯を有している者も3名に認められている。う蝕罹患型はO₁:375名42.8%、O₂:417名(47.7%)、A71名(8%)、B8名(0.9%)、C5名(0.6%)である。軟組織異常ありは1名(0.1%)に過ぎない。

VI 総合判定

健康者695名(79.3%)で、問題ありとされた者181名(20.7%)であった。

問題ありとされた内容を詳細に検討すると、う歯84名、次で皮膚疾患が多く湿疹28名、アトピー性皮膚炎6名、ストロフルス2名、顔面白癬1名、皮膚炎1名、火傷瘢痕1名、突発性発疹症の発疹1名、伝染性軟属腫1名、リンパ管腫1名がある。

眼科的疾患として斜視5名、斜視の疑い1名、結膜炎1名、結膜充血1名、眼球振盪1名であった。呼吸器系疾患は気管支炎8名、喘息様気管支炎1名、百日咳の疑い1名である。

その他に心雑音2名、全体的発達のおくれ2名、歩行が未だ出来ない者2名、歩行開始のおくれ1名、脳性麻痺の疑い1名等がある。

少数例であるが水腎症1名、臍ヘルニア2名、川崎病1名、睾丸発達のおくれ1名、発育不良1名、蟻虫症1名等がある。

VII 指導区分

異常なしは158名(18%)で、残りの718名の内容は追跡観察87名、精検13名、要治療27名で、大多数は助言指導である。

VIII タイムスタディー

2表に示す様に対象児が問診、身体測定、歯科及び内科検診に要した時間及び待ち時間を示している。

IX 予算措置状況

昭和53年度にこの健診に大村市が計上した予算は3表の如くである。

X まとめ

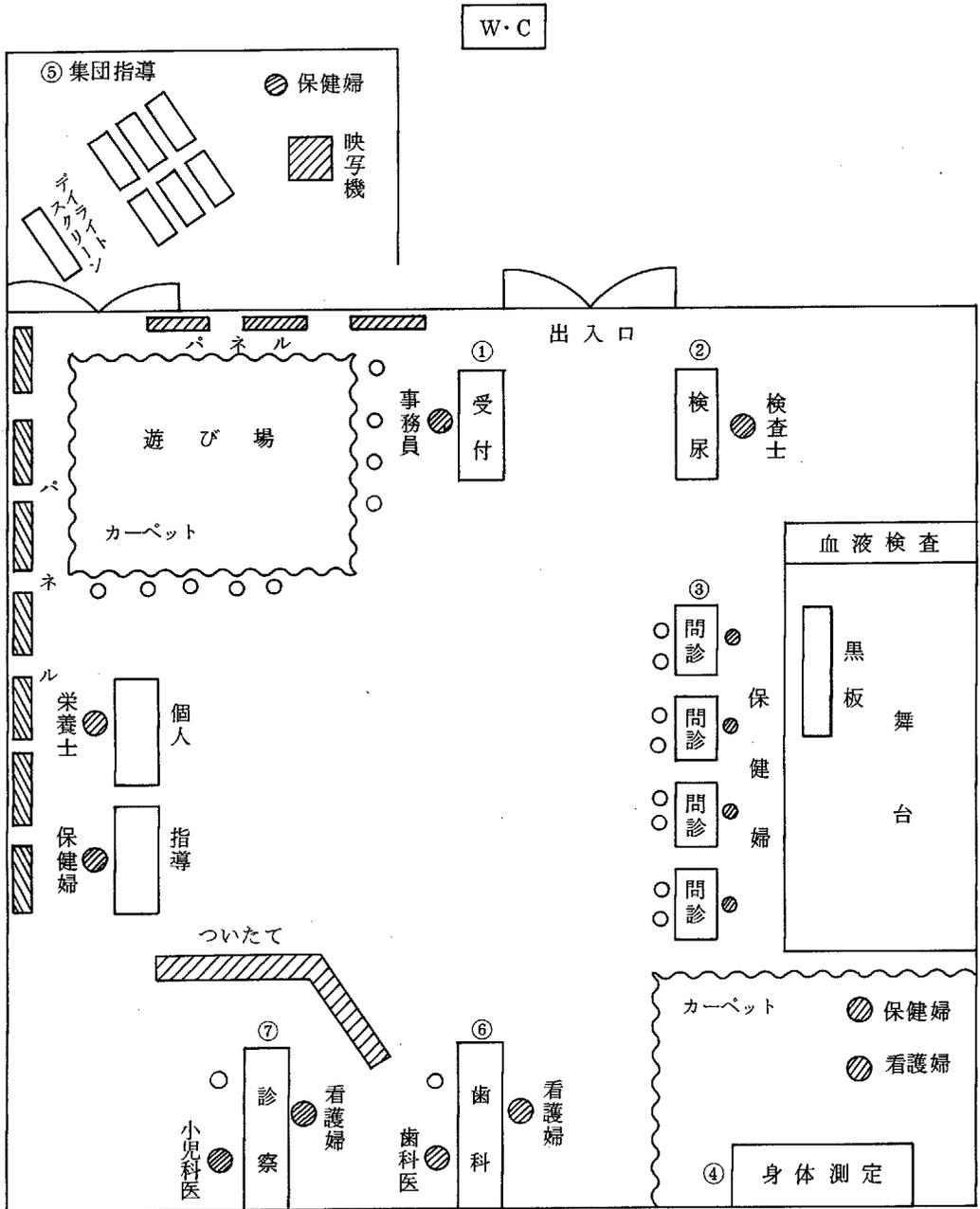
大村市では医師会、歯科医師会、保健所保健婦在宅保健婦、大村市役所の一致した協力により、1歳6ヶ月児健診を円滑に着実に実施している。我々のチームは本健診が只単に健診のみに終わらないで、この機会を利用し特に育児知識及び育児態度の向上を計ることを主眼にして、待ち時間を活用して集団指導に力を注いでいる。

厚生省指導で製作された映画「自立の始まるころ」を20分に改篇して母親に見せると同時に、歯の模型を利用して歯の手入れについて解説を行っている。

映画を見せる以前は手製のパネルを使って保健婦が解説を加えながら集団指導を行っていたが、映画を用いるようになり、一層の充実した視聴覚教育を行える様になった。映画を見た後の感想を求めると今後の育児に対して非常に益する事が多いと述べている。我々は更に会場に壁掛けパネルを置いて保育者の育児に対して心掛ける事項を中心に掲示している。更にフードモデルを展示して栄養士による必要な食品の解説を行っており、特に実物大の模型によりどれだけの量がどの様な組合せで摂取されれば十分な幼児食となるのか、平易なる解説により効果が上がっている様に思われる。健診及び個人指導を終了した全員に対して財団法人日本食品協会出版の「子供の健康をつくる食生活」のパンフレットを配布して育児食の質の向上にも努めている。

尚我々としては現在行っている1歳6ヶ月児健診のデーターをその儘3歳児健診に利用出来る様に表4に示す様な工夫を行っているので皆様の御批判を載ければ幸いである。

図1 <健診会場> (市役所二階大会議室)



1歳6カ月児健康診査アンケート

※左端の枠内には記入しないで下さい。

①	住所	TEL
②	フリガナ氏名(本人)	1 2 年月 日生
③	性別	⑩ 職業
④	⑪ 氏名(父)	⑪ 氏名(母)
⑤	⑫ 氏名(父)	⑫ 氏名(母)
⑥	⑬ 氏名(母)	⑬ 氏名(母)
⑦		
⑧		

郵便はがき

8	5	6	-		
---	---	---	---	--	--

大村市玖島郷25番地

大村市役所生活環境課行

1. 歩き始めたのはいつですか ()
2. よく歩きますか
3. 手を引いて階段をのぼりますか
4. 鉛筆を持ってなぐり書きをしますか
5. 目つきや、目の動きが悪いという心配がありますか
6. よく早えていると思いますか
7. 名前をよぶとふり向きますか
8. 耳が遠いという心配がありますか
9. テレビはどれ位の距離で見ますか
(1.50m未満 (2.11m未満 (3.11m~1.5m未満 (41.5m以上
10. テレビは一日平均何時間見ますか () 時間
11. おもちゃで遊びますか
12. 人のまねをしますか
13. 絵本に興味を示しますか
14. 絵本を見て知っているものを指さしますか
15. ワンワン、プープーなど意味ある片言をいいますか
16. 相手になると喜びますか
17. 他の子供に関心をもちますか

18. 母乳や哺乳びんはもうやめましたか
19. 水をコップで飲みますか
20. スプーンを持って自分で食べようとしますか
21. 3度の食事は大人と同じものですか
22. 栄養のバランスを考えて料理をしていますか
23. 子供のための調理の工夫をしていますか
24. 食物に好き嫌いがありませんか
25. よく食べますか
26. おやつを食事の一部と考えていますか
27. おやつを時間を決めて食べますか
28. おやつは主に何を与えていますか
(2つまで)
29. 何か心配ごとがあり相談したいことはありませんか ()
30. 受診できない人 (理由 ()

1 歳 6 月 健 診 に つ い て の ア ン ケ ー ト

1 歳 6 月 健 診 に 関 す る テ ー マ で 御 研 究 の チ ー ム は 必 ら ず 御 返 事 下 さ い 。 報 告 書 の ま と め に 使 わ せ て い た だ き ま す 。

チ ー ム 名

長 崎 県 大 村 市

県内での実施状況 (何市町村中実施率)	一般健診 54/77(市町村) 歯科健診 43/77()
どのような方式で実施し、 あるいは実施の指導をして おられますか (県指導型, 医師会主導 型など, 巡回方式, 会 場方式など)	医師会主導型
1 会場当り平均の実施委員 数, および受診児数は? (医師(僱い上げ?), 保健婦, 栄養士, 推進 員など)	1. 会場における平均実施委員数 14 名 (小児科医 1 名, 栄養士 1 名 歯科医 1 名, 保健婦 6 名 2. " " 受診児数 41 名 (看護婦 3 名, 受付事務 1 名 臨床調査士 1 名)
費用はどうなっていますか (県・市町村の上積み, 医師僱上げの日当など)	県・市町村の上積み
実施してみても住民側からよ ろこばれている点は?	子供の発達段階の理解と個人指導による育児に対する悩みの解決
同上, 注文の多い点は?	スタッフの増員 待ち時間の短縮
総合的にみて本健診のメリ ットは? (個条書きにして下さい)	① 歯科検診の導入により歯科衛生への関心が高まった。 ② 市全体の小児の健康把握が出来た。従来の 0 才児健診と 3 才児健 診の中間の発達を把握しハンディキャップ児の健診・指導, 精密 検診, 施設紹介が出来た。
同上, 今後改善のための問 題点は? (個条書きにして下さい)	① 健診の質の向上を如何にして計るか? ② 母親の育児に対する心構えを如何にして教育して行くか。 ③ 心理指導員の増員の義務づけ。 ④ 待ち時間の短縮と, 待ち時間を利用した充実せる集団指導のモ デルの設定。
その他, 御気付きの点	

⑨ 御使用中の健診用紙, 問診アンケート用紙を 1 部づつ添えて下さい。(前に一度
いただきましたが, 変更などもおありと存じますので重ねて御送付下さい。)

表2 タイムスタディ結果

(各担当部門に要した時間)

(待ち時間)

	平均(分)
問診	9.9
計測	4.1
歯科	2
診察	1.9
集団指導	21
個人指導	5.6
健診時間	105

	平均(分)
受付 → 問診	17.6
問診 → 計測	4.5
計測 → 歯科	24.8
歯科 → 診察	7.4
診察 → 個人指導	4.7

表3 予算措置状況

保健衛生総務費 (53年度分)

報酬費	348,000	小児科医 月2回×12×8,000=192,000 開業歯科医 月1回×12×8,000=96,000 市立病院 月1回×12×5,000=60,000
賃金	338,400	看護婦 3人×月2回×12×1,600=115,200 保健婦 2人×月2回×12×4,650=223,200
需要費	181,360	印刷製本費 119,400 消耗品費 61,960
役務費	50,000	通信費 50,000
計	917,760	

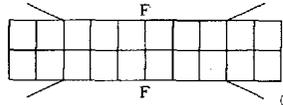
健診日
 小児科医
 歯科医
 保健婦

受付	検尿	問診	計測	歯科	診察	集団指導	個人指導

1歳6カ月児健康診査票

No. _____

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46
- 47

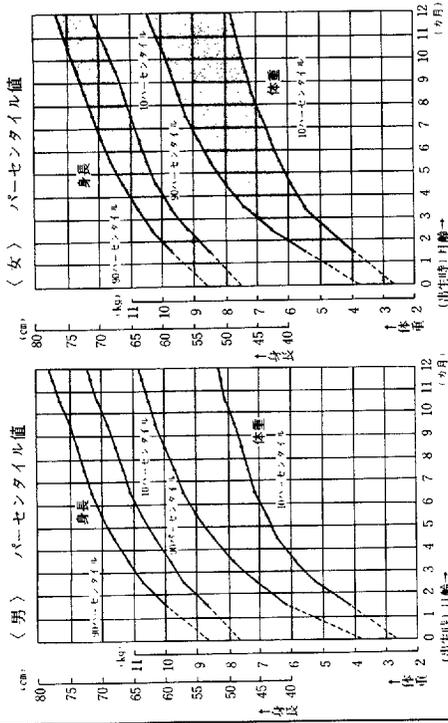
本人氏名			年齢	歳	カ	月
A 家族歴	① 家族はみんな健康ですか 1.はい 2.いいえ() ② 主な保育担当者 昼() 夜()					
B 既往歴	③ 罹患傾向 1.なし 2.ひきつけ(回) 3.下痢し易い 4.よく熱を出す 5.かぜをひき易い 6.かぜをひくとぜいぜいがとれにくい 7.湿疹 8.その他()					
C 生活習慣	④ 食前食後に手を拭いてやっていますか 1.はい 2.いいえ ⑤ 上衣を脱ごうとしますか 1.はい 2.いいえ ⑥ 排泄のしつけ 1.始めている 2.始めていない ⑦ 事故(けが、やけど、誤飲など医療を要する程度のもの) 1.ある() 2.ない ⑧ むし歯にならないように気を付けていますか 1.はい 2.いいえ ⑨ はいと答えた人……それほどのような事ですか 1.できるだけ甘い物を控えている 2.食後にお茶や水を与えている 3.食後口の中を拭いている 4.歯ぶらしを持たせている 5.食後歯みがきをさせた後母親が仕上げをしている 6.その他()					
D 育児態度	⑩ 子供の相手をよくしていますか 1.はい 2.いいえ ⑪ 育児に関心がありますか 1.はい 2.いいえ ⑫ 感情的に叱る方ですか 1.はい 2.いいえ ⑬ 先まわりして世話をしてしまう方ですか 1.はい 2.いいえ ⑭ 子供の言いなりになる方ですか 1.はい 2.いいえ					
E 行動上の問題	⑮ 1.特にない 2.かんが強くよくぐずる 3.異常におとなしく反応がにぶい 4.周囲の人に関心 5.たえまなく動きまわる 6.その他()					
F 発育	これまでの発育 ⑯ 身体 : 1.順調 2.劣る 3.不明 ⑰ 運動機能 : 1.順調 2.劣る 3.不明 ⑱ 知恵 : 1.順調 2.劣る 3.不明	身体発育値 ⑲ 身長 cm ⑳ 体重 kg ㉑ 頭囲 cm ㉒ カーブ指数				
G 診察	⑳ 受診態度 1.協力的 2.非協力的() ㉓ 体格 1.大がら 2.普通 3.小がら ㉔ 栄養状態 1.肥 2.普通 3.やせ ㉕ 筋骨 1.強壮 2.普通 3.薄弱 ㉖ 形態異常 1.無 2.有() ㉗ 皮膚 1.異常なし 2.有() ㉘ 胸部聴診 1.異常なし 2.有() ㉙ 心雑音 1.無 2.有(a機能的 b病的) ㉚ 腹部 1.異常なし 2.有() ㉛ 神経学的所見及び運動機能 1.正常 2.境界 3.異常		⑳ 眼 1.視力障害(a有 b無 c疑) 2.斜視(a有 b無) ㉜ 聴覚 1.正常 2.難聴 3.疑 ㉝ その他の疾病異常 1.無 2.有()			
(歯科)	(記号) 未萌出歯V, 処置歯O, う歯Ci, Ch  ⑳ 生歯 本 ㉞ う歯 本	㉞ 歯の汚れ 1.きれい 2.ふつう 3.きまない ㉟ う蝕罹患型 O ₁ , O ₂ , A, B, C ㊱ 軟組織の異常 1.無 2.有() ㊲ 精密検査 1.無 2.有() ㊳ その他の要指導 1.指しゃぶり 2.ゆ合歯 3.歯列, 咬合 4.その他()				
H 検査	⑳ 尿蛋白(-, 土, +)		㉞ 尿糖(-, 土, +)		㉟ 血色素 g/dl	
I 総合判定	㊴ 1.健康 2.問題あり(項目)					
J 指導区分及び備考	㊵ 1.異常なし 2.助言指導 3.追跡観察 4.精検(紹介) 5.要治療 6.施設紹介 7.治療中					

事後措置記録

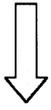
年 月 日	問 題 点 (健診及び有症状時)	紹介した医療機関及び施設名	結 果
備 考			

月	発達状況	月齢
3	動くものを目で追う	
4	首すわり 聞きなれた人の声にふりむく	
5	あやすと笑う	
6	ねがえりをする	
7	おもちゃに手をのぼしてつかむ おすわり	
8	生菌	
9	はいはい	
10	ものにつかまって立ちあがる 指で小さいものをつかむ 人見知り	
11	音がなったら、その方向に正しく向く つたい歩き	
12	音楽に合わせて体を動かす	
13	片言を話す 大人の簡単なことばを理解する	
14	ひとり歩き	
15	走る	
16	スプーンを使う	
17	クレヨンでなぐり書き	
18	父・母のしぐさをまねる	
19	二語文を話す	

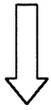
既往歴
① 麻疹 () ② 水痘 () ③ 百日咳 () ④ 風疹 () ⑤ 流行性耳下腺炎 () ⑥ 手足口病 () ⑦ 突発性発疹 () ⑧ その他 ()
⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿



27
28
29
30



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

長崎県のほぼ中央に位置し,人口 63,000 の小都市である大村市では,昭和 52 年 10 月以来 1 歳 6 ヶ月児建康診査を実施して来たが一部成績は昨年の本研究会で報告した。昭和 53 年度は健診内容の向上,特に集団指導における母親の保育知識の向上,育児態度の改善,幼児食への理解の向上に重点を置いて努力してきたので過去 1 年間の成績について報告する。